

## エコモビコラム

### ★第1回★

第1回のテーマは、「『エコモビリティライフ』とは」、「『エコモビ』のメリット（CO2の削減・健康編）」です。

#### ①「エコモビリティライフ」（エコモビ）とは

「エコモビリティライフ」（略して「エコモビ」）とは、環境（エコロジー）の「エコ」、移動の「モビリティ」、生活の「ライフ」をつなげたことばで、クルマ（自家用車）と電車・バス等の公共交通、自転車、徒歩などをかしこく使い分けて、環境にやさしい交通手段を利用するライフスタイルをいいます。

愛知県は、クルマの保有台数が全国一で、東京や大阪などの他の大都市圏に比べてクルマの利用が多い交通体系となっています。

クルマは非常に便利で、生活に不可欠な交通手段ですが、クルマへの過度な依存は、地球温暖化や交通事故、中心市街地の空洞化や渋滞などの問題にもつながります。

「エコモビ」を推進することにより、こうした問題の解決を図り、持続可能な社会の実現を目指しています。

#### ②「エコモビ」のメリット（CO2の削減・健康編）

「エコモビ」を実践することで、次のようなメリットが期待できます！

##### 【CO2の削減】

本県のCO2排出量のうち、運輸部門からの排出量は16.7%を占めています（2018年度数値）。手段別で見ると、クルマ（自家用車）が1人を1km運ぶのに排出するCO2排出量は、バスの約2倍、鉄道では約8倍であることが分かっています（2019年度数値）。従業員100人がクルマ通勤からエコ通勤に切り替えると、年間で約108tものCO2を削減でき、通勤時などに自家用車の利用を控える「エコ通勤」を実践することで、地球温暖化防止策として非常に大きな効果が得られます。

##### 【健康の増進】

クルマで約25分の道のりを徒歩と電車で行く場合、カロリー消費量は約2倍になります（40歳代男性の場合で、往復のカロリー消費量70⇒142kcal）。クルマ通勤者はエコ通勤者に比べて約1.5倍、肥満の割合が高いというデータもあります。事業所として、クルマ通勤者にエコ通勤への転換を促すなど、「エコモビ」を実践することで、従業員の健康増進にもつながります。

◇エコモビを紹介する動画も配信していますので、ぜひご覧ください！

<https://www.youtube.com/watch?v=Bn40zCDn9Vk&feature=youtu.be>

この「エコモビコラム」は、毎月第1水曜日「エコモビの日」の前日に、あいちエコモビリティライフ推進協議会の構成員及び「エコモビ実践キャンペーン2021」参加企業・団体等あてに「エコモビ」関係の情報提供を目的に配信する「あいちエコモビメールニュース」（第157号～159号）からの抜粋です。

「エコモビコラム」のメールニュースへの掲載は10月から12月まで。（配信後、本紙も随時更新予定）。従業員の皆様への「エコモビ」情報周知にご活用ください。

※ エコモビコラム作成にあたり、エコモビWebサイト掲載内容のほか、以下の資料を参考にしました。

- ・国土交通省Webサイト
- ・環境省Webサイト
- ・公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団Webサイト